

# Tourism

発行：浜田市ツーリズム協議会 特大号  
(問) 浜田市役所観光振興課内：0855-28-7613



今回の広報紙 Tourism は、昨年末と今年 1 月の動きをまとめて、合併号でお届けします。

## 臨時総会

平成 23 年 12 月 2 日 (金)、たばせ屋さんで平成 23 年度浜田市ツーリズム協議会臨時総会が行われました。平成 24 年度ツーリズム協議会の体制を強化するための会員規約改正を中心に議論されました。

事務局からは、「オーライ！ニッポン」に農協観光さんと一緒にツアー商品を応募したことについて報告があり、また、平成 24 年度夏に企画されている JC 主催のふるさと夢キッズ 2012 の受け入れを、会員の扇原茶園さんが了承して下さったことが報告されました。

お忙しい中ご出席いただきました会員の皆様、ありがとうございました。

### 報告

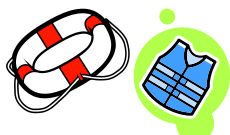
### リスクマネジメント研修会

1 月 10 日 (火) ~ 11 日 (水)、東京で「子ども農山漁村交流プロジェクト リスクマネジメント研修会」が行われ、事務局から鳥本さんが参加しました。

具体的な事故事例をもとに安全管理や保険についての説明を聞き、改めて安全管理マニュアルの必要性を実感しました。

万一の事故を防ぐために安全管理マニュアルを作成して、安全管理に対する意識を向上することが重要です。

協議会会員の皆様にも民泊・体験活動を行う上で、安全に対して十分な知識と対処方法を認識していただくことが大切だと考えます。



### しまね田舎ツーリズム推進大会in津和野

#### お知らせ



日時：3 月 18 日 (日)

13:30~16:30

会場：日原山村開発センター

鹿足郡津和野町日原 22-1

講演：沢畑 亨 氏

(水俣市久木野ふるさとセンター愛林館館長)

16:30~：交流会 (茶話会)

茶話会参加費：500 円

申込締切：3 月 15 日 (木)

#### 問合せ先

(公財) ふるさと島根定住財団 石見事務所

TEL：0855-25-1600

# 子ども農山漁村交流プロジェクト(受入地体制整備)研修会

## 鈴木達志さん講演会開催



★1月27日(金)、石央文化ホールにおいて子ども農山漁村交流プロジェクト(受入地体制整備)研修会が行われました。



冒頭、浜田市副市長大谷克雄氏にご挨拶頂きました。お忙しい中、浜田市ツーリズム協議会の発展のために研修会にご出席頂きましてありがとうございました。

冒頭、浜田市副市長大谷克雄氏にご挨拶頂きました。お忙しい中、浜田市ツーリズム協議会の発展のために研修会にご出席頂きましてありがとうございました。

- 適度な休憩をとる。低体温症、熱中症に注意。
- 子どもたちに事前に危険生物を知らせて、近寄ったり触ったりしないように注意しておく。
- 川の中州遊びでは増水時の痕跡を観察することがポイント。また、山の天気と、上流にどれだけダムがあるかを気にかけることが大事。
- 山の遭難のNo.1は道に迷うこと。迷ったら稜線に沿って登る。沢(川)を下ってはいけない。
- 下見をしてルートを完全に把握する。
- 事前に保護者にアレルギーの種類など調査票を書いてもらい、常備薬を持参してもらう。
- 実際に起こるケガで一番多いのは捻挫。冷やす→圧迫→拳上→安静



※自分の子だっただと思って行動することが大事。



★鈴木達志さんは日本唯一の専門グリーン・ツーリズムインストラクターで、人と自然を結びつけた体験プログラム「伊豆自然学校」を提供しています。ク

ウェート駐在勤務時代イラクでの捕虜人質生活を経験。その経験からリスクマネジメントの重要性と具体的なノウハウを伝えたいと考えたのが今の仕事を始めるきっかけとなりました。日常生活やアウトドア活動での、様々なトラブルに遭遇し対処した豊富な経験を活かし、安全指導、安全管理の心構えを伝えています。

★Part2「民泊における安全管理について」

- 階段の手すり設置。ぐらつきはないか確認。
- 緊急避難経路は子どもと大人の2種類作る。子ども用はひらがなやルビでわかりやすく。
- 一番多いアレルギーはハウスダスト。掃除は完璧に。シーツ・食器は衛生的に。
- 消化器は台所以外で誰もがとれる所に置く。
- AED設置場所確認。
- 災害時の脱出方法、連絡方法など確認。
- 救急車を呼ぶとき伝える事柄を書いて、見える所にかけておく。



★Part1「体験指導における安全管理について」前提として大切なことは、

※事故を防ぐために、危険な場所や海・川の特徴を知っておくことと、その他様々な知識。

※子どもたちはゼロスタートと考えなければならない。こんなことは知っているだろうという常識はまったく通用しない。

- 海では離岸流が起こるポイントは避ける。

★最後に浜田消防署の方による応急手当講習



を受けて、心肺蘇生法を学びました。皆さんとても熱心に練習しておられました。

